

(社) 日本動物学会中国四国支部平成 23 年度総会・議事録 (案)

平成 23 年 5 月 15 日 (日)  
香川大学教育学部北 8 号館 1 階 812 講義室

- 議長選出  
岡田龍一氏が選出された。
- 地元県委員挨拶  
岡田龍一氏から挨拶があった。
- 支部長挨拶  
高橋純夫支部長から挨拶があった。
- 若手研究者優秀発表賞の表彰  
岡田龍一香川県委員による選考経過の説明の後、高橋純夫支部長より 2 名の受賞者に賞状と副賞が授与された。受賞者と演題は以下の通りであった (敬称, 共著者略)。
  - 佐藤真実 (広島大・院総科・生命科学: 博士課程前期 1 年)  
「マウス視床下部における摂食調節に関わる新規遺伝子の mRNA 発現解析」
  - 花房志帆 (岡山大・院・自然科学: 博士前期課程 1 年)  
「キイロシヨウジョウバエ雌雄個体間相互作用による概日リズム変調機構の解析」
- 報告事項
  1. 理事・評議員報告  
植木龍也理事より公益法人化の準備状況と第 1 回理事会 (2 月 5 日) について報告があった。公益法人化については、日本学術会議の説明会 (11 月 25 日), 動物学会公益社団化へ向けての会議 (12 月 11 日, 2 月 5 日), 会長の所信表明および支部長からの問いかけ (1 月 25 日) についての経緯説明があった。特に学協会の公益性認定, 定款改定にあたっての解決すべき検討事項, 支部活動について説明があった。高橋純夫支部長から動物学会公益社団化へ向けての会議における最新情報の補足があった。第 1 回理事会の報告事項としては、公益法人化に関する事項の他に各理事・委員の報告事項を説明した。特に他の学協会との大会日程調整に関する意見があったことが報告された。また、審議事項としては、平成 22 年度事業報告および決算報告、今後の公益法人化に関する方針が承認されたことが報告された。また、動物学教育賞が継続審議になったことが報告された。
  2. 庶務幹事報告  
竹内栄庶務幹事より平成 23 年度支部役員, 支部会員数, および平成 22 年度事業の後援・協賛について報告があった。平成 23 年 5 月 2 日現在の支部会員数は 276 名 (前年度比 1 名減) であった。また、平成 22 年度は山口大学理学部サイエンスワールド 2010 (平成 21 年 8 月) の後援を行ったとの報告があった。
  3. 会計幹事報告  
森下文浩会計幹事より平成 22 年度会計報告があった。
  4. 会計監査報告  
花田秀樹会計監査より適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があり、平成 22 年度決算は了承された。

## 5. 県委員・企画委員報告

竹内栄庶務幹事より4件の活動報告があった。広島県例会（平成22年3月）、愛媛県例会（平成22年12月）、土佐生物学会2010年度例会（平成22年12月）、山口大学理学部サイエンスワールド2010（平成22年8月）を実施した。また、庶務幹事より、第84回（平成25年度）日本動物学会大会について、会期、会場、大会委員長等について坂本竜哉岡山県委員より報告があったことが報告された。大会委員長は高橋純夫会員（岡山大・院・自然科）、会期は9月25-28日、会場は岡山大学（但し、懇親会は27日にホテルグランビア）である。

### ○ 審議事項

#### 1. 次年度支部大会開催予定地について

平成24年の支部大会を島根県で開催することが竹内栄庶務幹事より提案され、承認された。

#### 2. 本年度支部予算について

本年度予算案について森下文浩会計幹事より説明があり、原案通り承認された。また、これに関連し、予備費の使用法について議論があった。

#### 3. 次年度支部予算について

森下会計幹事より、平成24年度支部会計予算案の概要説明があった。高校生ポスター発表開催の経費を学会本部に申請すること、役員手当を半額に減額することなどが提案された。支部活動計画を前年度に策定し、支部役員会、支部総会では次年度の支部会計予算案について承認する必要があることが説明され、その方向で検討することが承認された。

### ○ 次年度支部大会開催県委員挨拶

尾崎浩一島根県委員より挨拶があり、平成24年度の支部大会は5月12日（土）～13日（日）に開催する予定である旨の報告があった。